

## 「構内」事故の防止 (バック事故多発…後方の安全確認)

見落とすな! 『一時停止の標識』  
確実な『一時停止』と左右の安全確認

交差点 信号が、「青」に変わった! チョット待て! もう一度、安全確認しよう

車間距離を十分にとろう! 追突を未然に防止しよう

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう! 自分の命 他人の命

- 積み下ろし作業中の、荷台からの墜落・転落に注意しましょう
- 鋼材、資材の積み下ろし作業中の、手・指・足のはさまれ事故に注意しましょう
- ハウス、トイレの積み下ろし作業時の、脚立・屋根からの転落に注意しましょう
- 敷き鉄板の積み下ろし作業時、ユニック作業に注意しましょう

交差点は、気配り・目配り、危険予知

- 右左折時は、交差点中央で一旦停止、最徐行で進行
- 左折時は、ハンドルを切る手前で、安全確認の徹底
- イエローストップ運動の徹底 (黄色信号は、「止まれ」)
- 助手席の安全窓の視界確保と車内清掃の徹底

## 車両側が黄色点滅、歩行者用の信号機は停止(消灯)

夜間は信号機が機能制限される交差点 乗用車にはねられた横断者が死亡  
「通行量が少ないので、国道側の通行を優先させる」という考えなのかもしれないが…  
点滅信号というのは、運転者が軽視しやすいものでもある

2018.3.15

14日午後9時15分ごろ、秋田県の国道で、交差点側の通行量が減る夜間の時間帯に信号機の機能が制限された交差点で、横断者がクルマにはねられる事故が起きた。歩行者の高齢男性が死亡。横断歩道を渡っていたが、歩行者用の信号機は停止していたという。

現場の信号機は交差点側の交通量が減る夜間(午後9時以降)は機能制限されており、事故当時は車両側が黄色点滅、歩行者用の信号機は停止(消灯)していた。警察では双方の安全確認に怠りがあったものとみて、事故発生の経緯を詳しく調べている。

交差する市道の通行量が減るため、午後9時以降は国道側を黄色点滅状態として、歩行者信号は機能を停止させてしまうという交差点で事故は起きた。「通行量が少ないので国道側の通行を優先させる」という考えなのかもしれないが、点滅信号というのはクルマの運転者が軽視しやすいものでもある。

## 危険な「あおり運転」 免停30日

進路を譲ってくれなかったことなどに腹を立て

2018/3/15(木) 17:00

静岡県公安委員会は15日、危険な「あおり運転」を繰り返したなどとして、40代男性会社員を30日間の運転免許停止処分にした。県警運転者教育課によると、男性は昨年11月、乗用車を運転中、国道バイパスに流入しようとした際に、走行中の軽乗用車が進路を譲ってくれなかったことなどに腹を立て、あおり運転を繰り返すなどした上、鉈やのこぎりを持って軽乗用車の運転者を脅したとされる。男性は銃刀法違反の疑いで摘発された。公安委員会は男性が運転により交通に著しく危険を生じさせる恐れがある「危険性帯有者」と判断。道交法は将来的に事故を起こす可能性があるとして判断した運転者に対し、交通違反による点数の累積がなくても最長180日間の免許停止ができると規定している。同課は「悪質・危険な運転は今後も厳しく取り締まる」としている。警察庁が今年1月、全国の警察に対し厳正な捜査の徹底と積極的な免許停止の行政処分の実施を求める通達を出した。

## 大型トレーラー同士の追突事故 後続の大型トラックが追突

追突した大型トラックの運転手、死亡

路肩に避難していた、大型トレーラーも巻き込まれる

◇前方で…何が起ころかわかりません 車間距離を十分にとりましょう◇

2018/3/15(木) 12:11

15日午前1時20分頃、岡山県の山陽道上り線で大型トレーラー同士の追突事故が起きました。ここに大型トラックが追突し、運転手の男性(57)が死亡、路肩に避難していた大型トレーラーの男性運転手2人も巻き込まれるなどして軽いけがをしました。

## 信号機がない、見通しの悪い交差点

配達途中のトラックと衝突 原付バイクの女性、意識不明の重体  
原付バイク側に、『一時停止』の標識

◇交差点、相手は止まらないかもしれない、『最徐行』◇

2018/3/15(木) 16:01

15日午前8時ごろ、熊本県の町道交差点で高齢女性(80)が運転する原付バイクと配達途中のトラックが衝突する事故がありました。原付バイクの女性は意識不明の重体です。現場は信号機がない見通しの悪い交差点で原付バイク側には一時停止の標識が設置されています。